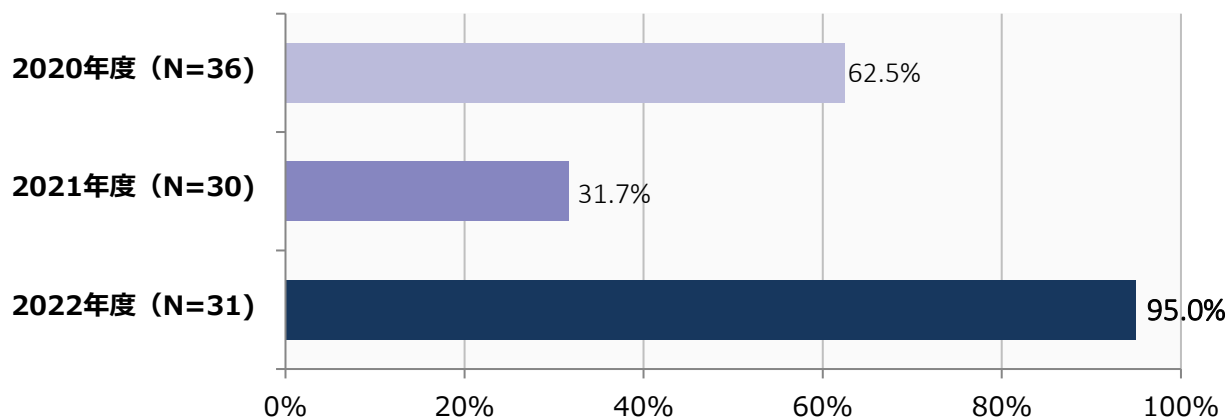


循環器急性疾患でCCUへ入室後、リハビリ開始までの日数

循環器急性疾患（急性心筋梗塞・大動脈解離・うっ血性心不全）に対する心臓リハビリテーションは、運動耐容能改善をもたらし、ひいては日常生活における自覚症状ならびにQOLを改善し、結果的に予後を改善することが示されています。一方で上記疾患の特に急性期治療においては安静臥床が余儀なくされる場面が多く、心臓リハビリをいかに早期に開始できるかによってセンター滞在日数軽減・早期社会復帰の実現が得られ、結果的には医療経済への貢献も期待できます。スタッフ全員でこの認識を共有することにより、より質の高い循環器急性期治療を進めていきたいと考えます。



当院値の定義・算出方法

分子： CCU入室より2日以内にリハビリ開始した患者数

分母： 対象患者数（急性心筋梗塞・大動脈解離にて入院した患者中、リハビリ開始できた患者数） $\times 100(\%)$

※グラフ中のN数は分母の値を示しています。

解説(コメント)

組織統合により入室患者が多様化する点を鑑み、本QIについては昨年2022年度をもって終了とします。近年は様々な入院制限下ではあったが、スタッフの意識付けへ一定の効果はあったと考えます。

文責：循環器内科主任部長
末松 延裕